

開運大摩利支天閣 最上稻荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和6年4月号



和尚さんのよろず話

4月に入りお寺の桜が咲き始めたかと思っていると、あっという間に満開、葉桜となっていました。春になると草木が芽吹き、花々が咲き、生命を感じ、前向きに「よし、行こう！」という気持ちにさせてくれますね。

さて、今回は「一蓮托生」（いちれんたくしょう）について、お話しします。

日蓮宗の仏教用語によりますと、「一般的には、良い事も悪い事も含め、ともに行動し運命を同じくする事として用いられます。経典の典拠は不明ですが、元々は浄土教の考えからきており、死後ともに極楽浄土に往生して、同じ蓮の台にのぼることに由来します」とあります。

「良い事も悪い事も含め」というのは、「自分にとって都合の良いことも悪い事も含め」という事で、相手が自分の思った通りのことをしなければ、気に入らなくなるようではいけないという事になります。

また、仏道修行では、お釈迦様が示された悟りへの道を進む仲間ということになります。インドでは長老を含めた出家した比丘が4人以上で行動・修行します。これを「サンガ」といいます。もちろん、調子が良い時だけ共に行動するわけではありません。良い時も悪い時も相手と行動し、最後まで運命を共有するという事です。

日蓮宗のご宝前には多宝塔が真ん中にあり、向かって左にお釈迦様が蓮華に座られ、向かって右側に多宝如来様が蓮華に座られておられます。この蓮華の台座は別々なのですが、この度、庭瀬組寺の霊跡参拝でお参りさせて頂いた瑞龍寺というお寺では、釈迦・多宝が同じ蓮華に座っておられ、珍しい形です。まさに「一蓮托生」の形を表しておられます。衆生のために何があろうとも法華経の行者を守護して下さる思いを



(瑞龍寺・一蓮華)

現しておられる様です。瑞龍寺は日蓮宗では唯一の門跡寺院であり、天皇家と遠縁の親戚のお寺でもあります。近江八幡の平野を望む気持ちの良いお寺でした。機会があれば参拝して下さい。合 掌

◇ 行事報告 ◇

3月18日（火）摩利支天様月例祭

春のお彼岸月の摩利支天様月例祭を執行しました。

当寺では春のお彼岸会は執行しておりませんが、月例祭の時に彼岸に唱えられる「提婆達多品第十二」を読ませて頂きました。



3月28日（金） 少年少女の集い



正善院様を会場に庭瀬組寺主催の修養道場の「少年少女の集い」が開催されました。昨年同様春の開催となりました。日帰りでの開催でしたが、16人の中学生以下の子ども達がお経やお花・飛行機作りなどに取り組みました。

4月9日（木）～10日（金）庭瀬組寺霊跡参拝

庭瀬組寺のお上人、檀信徒、総勢23名で京都・滋賀の日蓮宗の寺院や比叡山・定光院を参拝し、桃山城復元展示などを見学してまいりました。行く先々で桜が満開でした。次回の案内では是非参加下さい。



（比叡山・横川定光院）

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

5月22日（木）、6月18日（水）午前10時より執行いたします。

5月は日にちが変わります。よろしくお願いします。

◇ お知らせ ◇

この度「永代供養墓のご案内」を作成いたしました。参考まで、同封いたしますのでご覧下さい。

